



# 医科歯科連携

●医療法人社団健康会 高橋医院

## 医科歯科連携の診療が 医療の質と患者の安心感を高める

文・構成 加藤浩乃

Point!

### ①「差」がつくポイント

医科の外来・訪問診療に加え、歯科の外来・訪問診療も実施。医科歯科連携を充実させることにより、院内でのスムーズな情報共有や何かあったときに早急な対応が可能。

### ②費用対効果

歯科外来を併設する際の初期投資に資金がかかったものの、1年が経つ現在では、歯科外来・訪問歯科患者数ともに右肩上がり伸び続けている。

### ③その他の効果

医科歯科が緊密に連携し、他科の医師と相談しながら治療法をすすめていくため、医療の質や安全性に大きく貢献できる。

厳しい競争世界にさらされるなか、

医療法人社団健康会高橋医院では他院との差別化を図るための医科の外来・訪問診療に加え、新たな取り組みとして、歯科の外来・訪問診療を開設した。将来の生き残りに向けてスタートさせた「医科歯科連携」の具体的な狙いや効果などを紹介する。

幅広く診療科目を標榜し

1力所でさまざまな疾患に対応

医療法人社団健康会高橋医院は、1999年に東京文京区根津に開業した谷根千クリニックスの分院として、2003年、東京・荒川区町屋に開設された。内科、消化器内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科を標榜する

ほかに、歯科も併設している。基本的な疾患については各科にまたがりながら検査や治療を行う「オールインワン」の理念を掲げ、地域住民のニーズに込んでいる。

「めまいや頭痛、何となく身体がだるいなどの症状は何科に診てもらったらいのだろうかと迷った経験がある方も少なくないと思います。当院ではそんな症状の患者さんに「ここに来ればなんとかしてもらえろ」と思ってもらえるよう、さまざまな診療科で対応し治療していくことが可能です」と、林俊之院長は話す。

能となった。

同院の立地する町屋地区は、高齢者が多く住むという地域性もあり、在宅医療にも早くから対応してきた。歯科の開設とともに、訪問歯科診療もスタートさせた。訪問歯科診療は、歯科医師、歯科衛生士、歯科助手の3人で週2回、午前9時から午後6時までの間に10人前後の患者を訪問する。



林俊之院長（右）と関口大介歯科部長

# 付加価値で差をつける在宅医療



訪問歯科診療では歯だけではなく全身状態にも気を配る

訪問歯科を利用する患者はほとんどが高齢者のため、歯科診療に入る前に患者の体調や既往歴を確認し、血圧と脈拍を測る。

「患者さんのご自宅へ伺うわけなので、その日の様子やご家族との関係などにも留意してできるだけ患者さん一人ひとりとよもやま話をしてコミュニケーションを取るように心がけています。そのため診療時間はどうしても長くなってしまう」と、関口歯科部長。



外来においても、患者にレントゲンを用いて丁寧に説明する

患者の異変に対する気づきを医科と共有し、早急に対応

同院の歯科医師は関口歯科部長1人だけ。外来・訪問を含めたすべての歯科診療を1人で担当している。

歯科診療を開始するにあたって、健康状態が思わしくないと思われる患者に対しては、初診時に林院長と相談しながらの診察となる。患者の状態についての情報共有は、同院3階にある歯科診療室と2階の内科診療室を行き来するだけで迅速に行われる。わざわざカンファレンスなどを開く必要はない。

特に高齢者については、歯周病

と糖尿病などの生活習慣病との関連が指摘されていることもあり、情報共有が欠かせない。多くの高齢者の場合、何らかの慢性的な疾患を抱えていることが当たり前で、医科歯科連携は医療の質や安全の向上にも大きく貢献するという。

たとえば、骨粗鬆症治療薬のビスホス製剤の長期投与を受けている患者が抜歯した際には、顎骨壊死の危険性があるという。骨粗鬆症の治療と歯科診療をどう両立するか、整形外科の医師と歯科医師の連携により、ベターな解決方法を選択していくという。

また、訪問歯科診療に際しては、常に患者の全体的な状態にも気を配る。「いつもと比べて顔色が悪いな」など、異変に気がついたときにはすぐに医科へと伝達する。連絡を受けた医師は、たとえ予定訪問診療日でなくても、患者の様子を見に行くといった対応をする。それが、重大な結果を未然に防ぐこともあったという。

「訪問歯科は地域の高齢者の『見守り役』としての役割も担っているとも言えます」(林院長)

「患者さんの既往歴は歯科の診療だけでも把握できますが、医科と

連携して歯科の治療を行っているということが患者さんから安心して治療を任せていただけることにつながっているのだと実感しています」(関口歯科部長)

2014年に訪問歯科診療を始めてちょうど1年になるが、特に宣伝らしいことは何もしていない。それにもかかわらず、患者数は右肩上がりが増えていく。医科歯科連携の必要性は、近年盛んに言われているが、実際に行っている診療所は少ない。こうした実情に対し、林院長は「診療所で歯科を持つことは、経営的には決してプラスなことばかりではありませんが、今後も医科・歯科の連携をしつかりと行い、誰もが来院しやすく地域に根づいた『町のコンビニ二医院』でありたいと思っています」と、目を輝かせる。



医療法人社団健康会高橋医院  
東京都荒川区町屋3-2-10  
TEL: 03-3810-5665  
URL: <http://www.kenkokai.or.jp/>  
在宅患者数: 130人